

2021年1月6日
株式会社チェンジ
(コード番号：3962 東証第一部)

**緊急事態宣言下でのリモートワーク・テレワークを効果的に進めるためのEラーニング提供開始
～オンライン商談・オンライン会議の運営スキル向上を支援～**

株式会社チェンジ（以下チェンジ）では、緊急事態宣言下でリモートワーク・テレワークを効果的に進めるために、お客様企業のテクノロジー活用と人材育成を支援しております。本日より、効果的なオンラインミーティングに取り組める人材の育成支援をするEラーニングとして「オンラインミーティングの技術」を新たに提供開始いたしました。本コースは、オンライン商談の進め方・オンライン会議のファシリテーションのスキル向上を目指すものであり、オンラインのメリット、デメリットに着目しながら、効果的かつ実践的な商談・会議運営のポイントを解説しています。

新型コロナウイルスの拡大を受け、多くの企業がリモートワークを導入すると同時に、オンライン会議ツールで商談や会議を実施する機会が増えました。移動時間がなくなり、気軽に商談や会議を設定できるようになった一方、「反応や感情が読み取りづらく意思決定を促せない」「うまく進行できず議論がまとまらない」など、オンライン会議特有の悩みも出てきました。今後もリモートワークが継続することが想像に難しくなく、オンライン会議ツールをうまく活用しながら仕事を進めることが求められます。

本コースは、社内外で日々オンライン会議ツールを活用している講師陣の経験談や科学的実証に基づく話も交えながら、単に理解してもらうだけでなく、実際の商談・会議で即実践できるテクニックに重点をおいたプログラムとなっております。また、一方的にポイントを伝える形式ではなく、対談形式の動画教材を視聴し、情報番組を観ているような感覚で学習いただけます。

チェンジ社長の福留大士は、本サービスの提供を受け、次のように述べております。

「対面で何気なくやっていた『商談は勢いや熱量で想いを伝える』『会議では互いが空気を読んで意見を述べる』といったやり方がオンラインでは通用せず、本当の意味で、商談・会議主催者の参加者と意思疎通を図る力が重要です。すなわち地に足がついた商談スキル、ファシリテーションスキルがなければ意図した運営ができないことがリモートワークにより明らかになりました。オンラインになると会えない制約がある中、気軽に会議を設定できる分、うまく活用できればオフラインよりも効果的に商談・会議を進めることができます。我々の提供するプログラムでは、商談・会議を効果的に進めるため『準備』『実施』の2段階に分けてポイントをお伝えし、動画をご覧になった方が参加者と意思疎通を図り、スムーズに商談・会議を運営できるようになることを支援します。

オンラインミーティングを効果的に活用できる人材が増えることで、個人だけでなく組織の生産性向上という相乗効果をもたらすものと考えます。」

■株式会社チェンジ：

<https://www.change-jp.com/>

本社：東京都港区 代表取締役：福留 大士

本件の問い合わせ先：

株式会社チェンジ

東京都港区虎ノ門 3-17-1

Control & Management 担当

メール：ir_info@change-jp.com